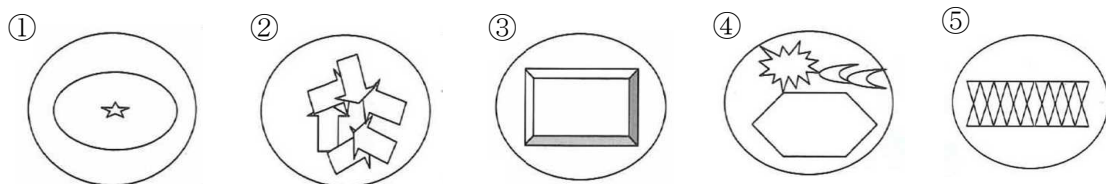


## ■美的な表現を体感する—中国風色彩料理をつくる

それでは演習についての説明をします。

“美的な表現を体感する”ということで5つの配色例をあげています。この5つの配色例は全般的なことですので知っておいていただきたいと思います。(下図参照)

- ① トッピング：これは、例えばオムライスなどをイメージしたらいいですかね。
- ② 混ぜ合わせる：これは一番楽な方法で、私はもしかしたらこればかりやっているかもしれないですけども、例えば野菜炒めを盛るといようなことでしょうかね。
- ③ 額縁を作る：こうなってくると少し高級感が出てきたりしますけれども、例えば中華などでは、ほうれん草の額縁などがありますね。あと卵とかそういったものでも額縁効果を出すこともあるかと思います。
- ④ 添える：これは洋食の定食の一番の例ですかね。メインがあって付け合わせがあるということですね。
- ⑤ 繰り返し並べる：代表的な例は餃子になります。



演習ではワンプレートを作っていたかと思いますが、実は配色を考えると必ず意識するのが地と図ということですね。地の色、図の色—つまり背景色と図形の色です。こういうことはいつも考えていかなければなりませんので、みなさんテーブルクロスとか工夫されていると思いますが、今日はランチョンマットのつもりで大きい色紙を選んでいただくと思います。まず背景色から考える方がいともよろしいと思いますし、つくったものにどんなランチョンマットが似合うかなという風に選んでいただいてもいいかと思います。

### 《講評》

ひとつのイメージとしてストレートに印象づけられるものというのはまとまりがいいですね。まとまりがいいと、イメージが伝わりやすいということです。それから形の組み合わせでは、盛りだくさんの盛り花のようにまとめてのせる方もいるでしょうし、形を1つずつ綺麗に整えて並べますと、それが非常によく見えるということになるかと思います。

背景色でだいぶ印象が違いますよね。際立ちを求めたいときにはランチョンマットの色が食材の色を引き立てるように、例えば(料理が)明るめであれば、逆に渋い・落ち着いた色にしますと料理が引き立つということがあります。やっぱりランチョンマットは彩度が強いほど主張してしまいますね。

色の対比効果というのがありまして、例えば、色相環の黄色をじっと見たあとに白い壁

を見ると反対色の青紫が出てくるんです。赤いハートをじっと見ていると、白い壁に目を移したときに青緑が出てくるという現象があるんですね。ある肉屋さんがリフォームをして黄色い壁にしたんだそうです。そうした途端に、リフォームをしたから売り上げが伸びるかと思いきや逆にってしまったんですね。それは、黄色を見ていると青紫のフィルターで新鮮なお肉を見るようなことになります。そういうこともちょっと注意しなければいけないということもあります。たまたま黄色のランチョンマットを見てその効果が出てしまうと、お皿の上のハンバーグがちょっと青紫っぽく見えてしまう心配があります。それをなんとかするためには、黄色の彩度をクリーム色くらいに落としてしまえば、また違うかもしれないですね。

私達がスーパーマーケットに行きますと、生鮮製品の食品売り場はほとんどそういう意識で設えられています。特に大手のお店では、照明の色からすべてかなり吟味して徹底してやっています。おいしそうに感じるの、実際はそういう舞台装置を上手に使って、消費者の人においしそうに見せる工夫をしているからということになります。だから、家へ帰って来て見たらそうでもないということもありますよね。お刺身でも、発砲スチロールの黒いトレイの方が50円100円高くても「高級そう。」と思って買ってしまってもいいんですけど、これもそういう効果だということなんです。

ミカンは赤いネットに入っていますね。そうすると甘味を感じるから、お客さんの手が伸びるんです。オクラはグリーンの袋に入っていると、そういうことも同様の効果ですね。私達の頃はそこまで考えられていない食材売り場でしたが、今は徹底されていて、実際に人間の目がそういう効果を感じて買っているということになっています。

一般的に食欲を増すという意味では、ランチョンマットは暖色系がいいと言われていますが、マットの色が強すぎますとお料理を引き立たせるという効果が弱くなりますから、あまり強い色じゃない方がいいと思います。紺なんかですと高級感が出ますが、一般的には暖色系が食欲をそそると言われています。

テーブルコーディネートの観点でいうと、実際には器との関係で、もう少しマットを地味な色、穏やかな色の配色にしますと食材の色を引き立てる効果があります。それから、今回は白い器を使用しましたが器が額縁の役割を果たすので、これが白じゃない器だとまた違うわけですね。